

## どんな呼ばれ方でもOK, 元気にがんばろう！

法律事務所職員

田中 瑞穂

先日、依頼者との打ち合わせが終わり、雑談していると「パラリーガルの仕事って体張ってるから大変ですよね」と言われた。これは間違いなく、漫画『出るトコ出ましょ！』（稲光伸二著 小学館）の影響である。

**「事務員」ではなく  
「パラリーガル」と呼ばれて**

この漫画の主人公は快活な女子高生のパラリーガルである。女子高生が体当たりで民暴などさまざまな難事件に立ち向かうというストーリーで、現在10巻が刊行されており、それなりに人気のある漫画なので、社会に一定の影響を与えているのではないかなと思う。依頼者から「事務員」でなく「パラリーガル」と呼ばれることなど今までなかったのだから。漫画の影響だけではないだろうが、最近は大学や専門学校の中に「パラリーガル養成コース」を設けているところがあり、若い女性に人気があるのだそうだ。

ちなみに、漫画に出てくる法律事務所の建物のモデルは我が事務所である。

**どうしても漫画の世界と  
ダブってしまうらしい**

しかし、いくらなんでも女子高生のパラリーガルなど現実にはいない。依頼者には「私たちが確かに体を張ってる面はあるんですが、漫画のような派手なことはしてないですよ」などと説明するが、依頼

者は「私の過払い金を取り戻すためにあなたが奮闘してくれたって、先生に聞いたよ。ヤミ金もやつつけてくれたんだよね、ありがとう」と言った。私のがんばりが評価されたことは間違いなさそうだ。

派手に活躍するパラリーガルのイメージがダブって見えて、微妙に誤解されている気がしたのだが、そんなことはあまり気にせず、もっと自信を持って仕事に取り組んでいこうと思った。漫画の主人公のように明るく元気になっていうのもいいかもしれない。

**今後は「認定弁護士補助職」らしいが  
…ちょっと長過ぎる!?**

先日、日弁連のチラシを見た。初めて法律事務所職員向けの研修を行なうそうだ。チラシによると「現在準備が進んでいる、認定弁護士補助職制度（仮称）の実現を視野に入れ、ワンランク上の事務職員に求められる知識と心構えを学ぼうとする研修です」と書いてある。これはおもしろそうだ。2007年1月26日に弁護士会館クレオで開催されるので私も出てみよう。ぜひとも認定試験にパスして「認定弁護士補助職」になりたい。

しかし、事務員やパラリーガルに比べて長くて言いにくいのが難点だと思う。依頼者は今後、私たち事務職員のことをなんと呼ぶのだろうかとか少し気になるのだが…これもあまり気にしないことにしよう。もっと事務職員として評価されることが大事だ。元気にがんばって働こう！